

日本史〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	①	3
	②	1
	③	3
	④	1
	⑤	3
	⑥	1
	⑦	4
	⑧	2
	⑨	1
	⑩	4
	⑪	1
	⑫	4
II	⑬	2
	⑭	2
	⑮	4
	⑯	4
	⑰	2
	⑱	2
III	⑲	3
	⑳	2
	㉑	2
	㉒	5
	㉓	4
	㉔	1
IV	㉕	8
	㉖	3
	㉗	2
	㉘	1
	㉙	3
	㉚	4
	㉛	1
	㉜	3

日本史〔前期A方式(1/30)〕

設問		解答例
I	①	4
	②	1
	③	1
	④	5
	⑤	2
	⑥	3
	⑦	2
	⑧	3
	⑨	3
	⑩	1
	⑪	4
	⑫	2
II	⑬	4
	⑭	1
	⑮	4
	⑯	2
	⑰	4
	⑱	1
	⑲	4
III	㉑	4
	㉒	1
	㉓	3
	㉔	3
	㉕	2
	㉖	4
IV	㉗	3
	㉘	4
	㉙	3
	㉚	6
	㉛	2
	㉜	3
	㉝	2
	㉞	7

日本史〔前期B方式〕

設問		解答例
I	①	4
	②	4
	③	2
	④	2
	⑤	1
	⑥	3
II	⑦	2
	⑧	2
	⑨	4
	⑩	2
	⑪	2
	⑫	4
III	⑬	2
	⑭	1
	⑮	4
	⑯	3
	⑰	2
	⑱	1
IV	㉑	2
	㉒	4
	㉓	4
	㉔	2
	㉕	3
	㉖	4
V	㉗	1
	㉘	2
	㉙	3
	㉚	4
	㉛	3

の前後を丁寧に読み取って、会話の流れに沿った1文を選択すること。

III

標準レベルの文法・語法・熟語が問われている。

- (1) enjoyは動名詞を目的語にとる。また、laugh at ~は~を笑う」の意なので、受動態の動名詞が適切。
- (2) shouldを使った仮定法の文。ifが省略されているため、倒置されている。
- (3) while ~ingで「~している間に」の意。主節と同じ主語Iとbe動詞wasが省略されている。
- (4) prefer that ~で「~であることがよいと思う」の意。
- (5) you and himがtellの間接目的語となるため、これがつながるものを選ぶ。exactlyは「正確に」という意味で情報の正確さを強調する副詞である。
- (6) bring aboutで「~をもたらす」の意。
- (7) on timeで「時間通りに」の意。rightはこの前置詞句を修飾し、「ちょうど」という意味を表している。
- (8) over the past decadeで「過去10年間にわたって」の意。期間を表す。at the turn of the century「世紀の変わり目に」は熟語としては正しいが、完了形とは一緒に使えない。

- (9) coverは距離を表す名詞(句)を目的語にとって、「(距離)に行く」の意味を表すことができる。
- (10) ought to have been invited to ~で「~に招待されるべきだった」の意。
- (11) <upon + 動名詞>で「~するとすぐに」の意。
- (12) being with himで「彼といること」という意味を表す動名詞句として使われている。これが文の主語である。
- (13) <be supposed to + 動詞の原形>で「~する[である] ことになっている」の意。handwrittenは「手書きの」という意味の形容詞。

IV

正しい語順は次の通り。

- (1) The 24-hour call-out service is (included in our basic package at no additional) cost.
- (2) Ms. Sato, (why do you think you're right for this) job?
- (3) Most (of us would think twice about spending so) much money on clothes.
- (4) It (was important for the patient to be seen) by a specialist.
- (5) We were just talking (about our boss when all of a sudden) she walked into the room.

日本史〔前期A方式 1/29〕

I

古代・中世の租税や土地制度などを題材にした問題。問1官物は租庸調・(公)出挙、臨時雑役は雑徭・雇役に由来する。問2田地の構成単位である名を割り当てられ、年貢・公事を取りまとめるようになった有力農民は①名主と呼ばれた。問3(a)臣・連・君などの家柄や地位を示す称号は姓。氏は血縁や政治的關係をもとに構成された組織。(c)Y百万町歩の開墾計画が出されたのは722年。Z三世一身の法が出されたのは723年。X墾田永年私財法が出されたのは743年。(e)前九年合戦・後三年合戦の後に東国で勢力を伸ばしたのは源氏。(h)水車・竜骨車は室町時代に使用が始まった。(j)地下請は年貢などを惣村がひとまとめにして請け負うこと。

II

戦国大名の分国支配を題材にした問題。問1戦国大名は土地の貢納高を銭(貫高)に換算し、それを基準に民衆には年貢を、家臣には軍役を負担させ、統一的な支配を行った。これを貫高制という。問2戦国大名は、有力家臣(寄親)に地侍たち(寄子)を預け、家臣団を統制した。これを寄親・寄子制という。問4(a)④彦根は江戸時代に発展した城下町。①小田原は北条氏、②駿河府中は今川氏、③一乗谷は朝倉氏の城下町として栄えた。(c)②主君が死去した際の殉死の禁止は、江戸幕府4代将軍の徳川家綱が命じ、5代将軍徳川綱吉の時代に武家諸法度に追加された。

日本史〔前期A方式 1/30〕

I

古代～中世の歴史的事件を題材にした問題。問1A藤原百川の出身は式家。B人臣ではじめて摂政の地位については藤原良房。C後白河天皇と崇徳上皇の争いが起こったきっかけは鳥羽法皇の死去。E京都に攻め上った足利軍を敗走させたのは北畠顕家。F鎌倉公方の足利持氏を討伐したのは足利義教。問4平徳子(建礼門院)は高倉天皇の中宮となった。二人の間に生まれたのが安徳天皇。問5宗尊親王が将軍に迎えられたのは、宝治合戦(1247年)より後の1252年。問6建武式目が出されたのは後醍醐天皇の死去(1339年)より前の1336年。問7鎌倉府が支配したのは関東8か国に加えて伊豆・甲斐で、のちに陸奥・出羽も加わった。

III

近代の学問を題材にした問題。問1『大和本草』を著したのは貝原益軒。問2『農業全書』を著したのは宮崎安貞。問3『塵劫記』を著したのは吉田光由。問4(a)Z高橋至時らが西洋天文学を取り入れた寛政暦をつくったのは、寛政年間(1789～1801年)。X高橋景保(至時の子)がシーボルト事件の責任を問われて処罰されたのは1828年。Y蕃書調所が設置されたのは1856年。(b)緒方洪庵の適塾は、大坂で開かれた。(c)コンドルは工部大学校、クラークは札幌農学校で学生たちを指導した。フェノロサは岡倉天心と共に東京美術学校の設立に尽力した人物。

IV

近現代の政治を題材にした問題。サンフランシスコ平和条約の条文が史料として提示されている。問1、問2、問3日本の領土についてサンフランシスコ平和条約で取り決められたのは、朝鮮の独立、台湾・南樺太・千島列島などの放棄である。イ空欄の後にある「澎湖諸島」は下関条約で台湾と共に清から割譲した地域である。ウロシアからの南樺太割譲は、日露戦争後に結ばれたポーツマス条約による。問4(c)日本国内およびその付近に配備が許されたのは、アメリカの軍隊。問5③ソ連は講和会議に出席していたが、条約には調印しなかった。①インド、④ビルマは条約案への不満から講和会議に出席せず、②中国(中華人民共和国、中華民国)は講和会議に招かれなかった。その後日本は1952年に中華民国・インドと、1954年にビルマと平和条約を結んだ。

II

江戸時代の宗教政策を題材にした問題。史料Aは鎖国令(寛永十六年令)、史料Bは宗門改め、史料Cは寺請制度に関する史料である。問1、問2史料Bは見慣れないものだが、史料Aと史料Cが宗教関連のものであることが分かれば、空欄の前後の文言や問題の選択肢と照らし合わせて、宗門改や人別帖という語を導き出すことができる。問3寛永十六(1639)年の鎖国令で来航が禁止されたのは④ポルトガル船。問5史料Aの鎖国令が発令された要因は、1637～38年に起こった④島原・天草一揆。問7不受不施派は④日蓮宗の宗派の一つ。

III

近世・近代日本の外交を題材にした問題。問1 田沼意次が蝦夷地の調査のために派遣したのは④最上徳内。問2 1792年に根室に來航し、長崎への入港許可証を渡され帰航したのはラクスマン。ラクスマンの持ち帰った入港許可証を持って1804年に長崎に來航したのはレザノフ。問3 (b) Y 異国船打払令が出されたのは1825年。X 渡辺崋山や高野長英らが処罰された(蛮社の獄)のは1838年。Z 天保の薪水給与令が出されたのは1842年。(c) 日本が「安政の五カ国条約」と呼ばれる条約を結んだ相手国は、アメリカ・ロシア・オランダ・イギリス・フランス。(d) 1875年に結ばれた樺太・千島交換条約により、日本は千島全島を領有した。

日本史〔前期B方式〕

I

古代～近世の土地制度を題材にした問題。史料Aは加墾の禁止、史料Bは新補地頭の設置、史料Cは丈量の統一と石盛法について書かれたものである。問1 空欄を含む文は、墾田永年私財法を引用している。墾田永年私財法は三世一身の法にかわり天平十五(743)年に出された。問2 新補率法では、田畑11町ごとに1町が地頭に与えられると定められた。問3 新補地頭には、土地のほかに田地1段につき5升の加徴米が与えられた。問4 太閤検地の際に、1間を六尺三寸、1段(反)を三百歩とした。問6 ①は2段目、②は4段目、④は3段目からそれぞれ読み取ることができる。③一地一作人の原則についての記述はない。

II

古代～近世の中国との外交関係を題材にした問題。Aの史料あは『後漢書』東夷伝、史料いは『漢書』地理志、史料うは『隋書』倭国伝、史料えは『宋書』倭国伝である。問3 い『漢書』は紀元前202～紀元8年まで存在した前漢の歴史を述べたもので、その地理志には倭のことが記されている。あ奴国の王が後漢の光武帝から印綬を受けたのは57年。え倭王武が上表文を送ったのは478年。う「日出づる処の天子」から始まる国書を持った遣隋使が派遣されたのは607年。問4 (b) 遣唐使の派遣停止を命じたのは宇多天皇。(e) 寧波の乱では堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏が争い、これに勝利した大内氏が貿易を独占した。(g) 17世紀の中国との長崎交易でのおもな輸入品は、生糸・絹織物・書籍などであった。②綿織物・④毛織物はオランダからの輸入品。

世界史〔前期A方式 1/29〕

I ベトナムと中国の関係史

問3 11世紀初めに成立した大越(タイベト)国の王朝は李朝。つづく陳朝のときに元軍の侵入を退けた。陳朝のあとに一時期、明の支配下にあったが、15世紀に自立して黎朝が成立した。問4 ベトナムでは黎朝の圧政に苦しむ農民たちの不満を背景に、1771年に西山の乱が起こった。これに対し、1802年に阮福暎が義勇兵やタイ・ラオスなどの援助をうけて西山政権を倒し、阮朝をたてた。問7 劉永福が、フランスによる軍事介入に抵抗して黒旗軍を組織したのは19世紀後半のことである。

II 西欧カトリック世界の歴史

問2 14世紀後半、領主が農民への束縛を強めようとしたことに反対して、イギリスではワット＝タイラーの乱、フランスではジャックリーの乱などの農民一揆が起こった。問4 ウルバヌス2世がクレルモン宗教会議を開いて十字軍を提唱したのは1095年のできごと。インノケンティウス3世がイングランド王ジョンを破門したのは1209年のできごと。ポニファティウス8世がフランス王に捕らわれたアナニー事件は1303年のできごと。

IV

近代日本の産業革命を題材にした問題。問題文は世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」と関連した目新しいものだが、設問の難易度自体は標準的なものである。問1 高杉晋作ら、後の長州藩の尊攘倒幕派となる人物たちが学んだ私塾は③松の下村塾。問2 集成館を設立したのは④鳥津斎彬。問3 ③静岡県にある韭山反射炉は、⑥江川太郎左衛門が築造した。問4 「神道は祭天の古俗」を発表したのは②久米邦武。問5 三菱が長崎で経営したのは③高島炭鉱と長崎造船所。三菱は他に佐渡金山や生野銀山の払下げを受け、事業を発展させた。問6 八幡製鉄所は、②ドイツの技術を導入し、⑦1901年に操業を開始した。

III

正徳の治と享保の改革を題材にした問題。問1 新井白石とともに正徳の治を行った側用人は③間部詮房。②柳沢吉保は5代将軍徳川綱吉の側用人だったが、6代将軍徳川家宣に退けられた。問2 徳川吉宗は、将軍就任前は紀伊藩の藩主だった。問3 (a) 新井白石は将軍職の地位と権威を高めるため、費用を献じて閑院宮家を創設した。(b) 町奉行に取り立てられたのは大岡忠相。田中丘隅は東海道川崎宿の名主で、吉宗に登用されたが、町奉行にはなっていない。(d) 『六論衍義大意』の作成に携わった木下順庵門下の儒学者は②室鳩巢。木下順庵門下の儒学者には、ほかに新井白石・雨森芳洲などがいる。

IV

江戸時代から明治時代の美術を題材にした問題。リード文は会話形式になっている。問1 『富岳三十六景』で知られる浮世絵師は④葛飾北斎。問2 歌川広重の作品として適当なものは②『東海道五十三次』。問3、問4 フェノロサと東京美術学校の設立に尽力した④岡倉天心が創立した美術団体は③日本美術院。問5 『無我』で知られる画家は①横山大観。問6 (a) 黒田清輝の作品として適当なものは②『湖畔』。(b) 帝国美術院の初代院長で、『舞姫』などの作品を発表した小説家は③森鷗外。

問5 ビザンツ帝国では、7世紀以降ギリシア語が公用語とされた。

III 明代の中国

問2 長江中流域にある湖南省や湖北省のあたりは、湖広地方ともよばれ、明代中期に開発が進んであらたな穀倉地帯になると、「湖広熟すれば天下足る」のことわざが生まれた。問5 朱元璋は、租税台帳(賦役黄冊)や土地台帳(魚鱗図冊)を整備したほか、里甲制を実施して全国の村落を組織した。里ごとに人望の厚い年長者を里老人として選び、六論による民衆教化にあたらせた。問8 『齊民要術』は6世紀半ばに完成した、中国最古の農書。北魏の賈思勰によって著された。

IV イギリス国王エリザベス2世

問1 チャーチルが参加したヤルタ会談は、米英ソによる首脳会談で、ドイツの戦後処理について話し合われたほか、秘密協定としてソ連の対日参戦が合意された。問5 アイゼンハワーは、第二次世界大戦中はヨーロッパ連合軍総司令官として、ノルマンディー上陸作戦を指揮した。戦後は、NATO軍最高司令官を経て、アメリカ大統領となった。